

保険薬局では処方せん受け付けから始まって、薬歴および処方せんの内容確認、調剤および監査、服薬指導、会計処理までと多様な業務が行われる。その多くが各種機器・システムにより支えられている。例えば、散剤の調剤であれば自動分包機は欠かせない。会計や保険請求のほか、薬袋や薬剤情報紙の印刷機などにつながる「レセコン」も、今や必須アイテム。そこで保険薬局業務を支えるそれらの機器に照準を絞り、その開発に係わる専門家に、開発に至った経緯、業務における役割・位置づけ、今後の可能性などを教えていただく。最初のテーマはレセコン。質問に答えてもらう人は、元システムエンジニアの宮島毅さん。三菱電機インフォメーションテクノロジーのプラットフォームソリューション営業部で活躍する。

What's ざっと

レセコンって？ ー開発担当者に聞く

答える人

三菱電機インフォメーションテクノロジー

宮島 毅氏



そもそも「レセコンって何？」。レセプトコンピュータの略だ。その「レセプト」とは医療機関が、診療行為に伴う診療報酬を健康保険組合など保険者に請求するための請求書で、技術料、材料費など実際にかかった料金を計算するコンピュータを指す。かつてこの保険請求事務は、事務員が計算機片手に行っていた。結果としては、定形様式に沿った“分厚い請求書”の束を毎月まとめていた。その後1972年頃、病院、診療所でも事務処理にコンピュータ「医科向けレセコン」が導入され始めた。調剤部門は80年代に入っ

てから。実は74年が「医薬分業元年」といわれ、80年代は分業が緒に着いたばかりという段階であった。それでも業務量の多い店舗から次第にレセコンが導入され、薬局における「電算化」が始まった。

さて現在に話を戻すと今のレセプト請求はデータをフロッピーディスクに



調剤システムと電子薬歴保存システムがシームレスに連携（左が患者情報の確認画面、上が患者ののみ合わせ確認画面）

診療・調剤の質改善へ貢献も

間近に迫ったオンライン請求

収めて請求する割合は、紙媒体請求に対し過半数を超えているが、いずれにも一端データを“媒体”に展開したものだ。しかし、今後はよりスムーズなレセコンから直接行う「オンライン請求」の時代を迎える。

国のIT化推進の方針に沿って、医療機関でも今年度からオンライン化による事務作業の効率化を段階的に進めている。宮島さんによると「薬局のオンライン請求は来年度から一定要件の基に手を挙げた薬局、08年度は手を挙げればどこでも可能、09年度にはオンライン請求しなさいとなっている」という。従って、どの薬局でもレセコンを入れざるを得ない時代がくる可能性は高い。

宮島さんはメーカーとしては、オンライン請求への準備は既に整っているという。インターネットの普及は目覚ましく、今や“パソコンを電話線をつなげば済む”という時代。レセコンも同様だ。ただ、扱うのは大量の個人情報であり、セキュリティ担保は至上命令。“情報漏洩”のニュースを見ない日がないという状況だが、漏洩対策はレセコン各社、まとめるJAHIS(保健医療福祉情報システム工業会)でも対応が検討されているという。

レセコンのもう1つ重要な側面は、様々なデータ集積・加工機能であろう。患者情報、医薬品在庫、医薬品の各種データを集中管理、さらに薬歴作成の支援、相互作用のチェック、または薬袋やお薬手帳、医薬品情報紙の印刷など、他の機器との連動で、様々な情報ツール作成などへと機能が広がっている。開発から四半世紀を過ぎたレセコンは「時代の要求」に合わせ、大きく様変わりした。

さて、「未来のレセコンは？」。宮島さんは「個人情報漏洩を意識しつつも情報共有も必要かなと思う。同じ薬局グループ間だけでなく、病院と薬局との情報連携も必要ではないかと思う。今、薬局店頭で要件に沿って先発医薬品を後発医薬品に切り替えたとき、処方医に対する情報フィードバックが求められます。ただし具体的ではない。例えば、現場では患者の状況により、錠剤を粉砕して飲ませたりします。従って、処方せん情報と調剤録とは必ずしも一致しない。そこで両者間で情報連携を構築し、病院の電子カルテに、薬局側での実際の投薬情報を反映させられれば、次回以降、より効果的な診療と調剤に役立つと思う」と語る。もちろん課題はある。しかし、未来のレセコンは“医療の質改善”へと、その役割を広げていく可能性を秘めている。

nivy

日本医歯薬研修協会

医学・歯学・薬学
医療系国家試験対策

薬学生 薬剤師国家試験対策講座

- 一年コース：6月5日～国家試験直前基礎から応用まで時間をかけて学習する講義展開が、国家試験合格を堅固なものにしていきます。
- 半年コース：9月1日～国家試験直前国家試験全範囲をしっかりと講義していきます。翌日の復習テストが実践力を養います。
- 短期コース：12月1日～国家試験直前短い期間で深い内容。点数アップにつながる要点、理解に必要なポイントをしっかりと伝授。

参考書

『通称：白本』『クイックマスター』

■発行所 株式会社 評言社（TEL03-3256-6701 <http://www.hyogensha.co.jp>）

- 完全少人数制！
- 平均講師歴十数年の専任講師陣！
- 考えて解く力を養うカリキュラム！
- 途中入校・学校見学随時受付中！

お問合せ先

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-27-12
三井住友銀行高円寺ビル3F
フリーダイヤル：0120-55-1489
TEL 03-5377-3191 FAX 03-5377-2214
<http://www.ishiyaku-k.com>
e-mail: yaku@ishiyaku-k.com